



< 3月の開室日・演習予定 >

※【 】：在室相談員
 ◎：演習内容(担当者)

月	火	水	木	金
2【小野瀬】	3【角谷・内田】	4【小野瀬・内田】 (教職対策講座)	5【角谷】 面接①(角谷) I 全校種 13:00~	6【角谷・内田】 面接②(内田) I 全校種 13:00~
9【小野瀬】 面接③(小野瀬) I 全校種 13:00~	10【角谷・内田】	11 閉室	12 閉室	13【角谷・内田】 模擬授業①(角谷) I 高校 13:00~ II 小中 14:00~
16【小野瀬】	17【角谷・内田】 模擬授業②(内田) I 養教 13:00~ II 小中 14:00~	18【小野瀬・内田・角谷】 ※相談室打合せ (教職対策講座)	19【小野瀬】	20 春分の日
23【小野瀬】 模擬・集団活動③ (小野瀬) I 特支 13:00~ II 小中 14:00~	24【角谷・内田】	25【小野瀬・内田】 (教職対策講座)	26【角谷】	27【角谷・内田】
30【小野瀬・内田】	31【角谷】			

< 3月からの相談室利用の見通し >

※ 茨城県の受験日程をもとに作成しています。日程や内容は変更される場合があります。
 受験自治体のHP等を活用し、こまめな情報収集を！

- 3月
- 出願(自治体による)と並行し、2次試験に備え「自己分析」をまとめる。
 - ※ 出願は、期間終了ぎりぎりにならないこと！なるべく早めに余裕をもって出願する。
 - ☆ 出願と並行し、「自己分析」を行い、2次試験に備える。自己分析は面接練習の根幹である。
 - 1次試験の結果を待ってから自己分析をまとめてからでは遅い場合がある。
 - ①どんな児童生徒を育てたいのか ②どんな教師を目指すのか
 ③教員を目指したきっかけは何か ④どんな長所をどんな場面で生かすのか 等
- 3月～5月
- 自己分析(自治体による)を完成させる。
 - 面接・模擬授業等についてノートにまとめる。
 - ※ 面接で答えたこと(自己PR)、演じたこと(模擬授業・集団活動【特支】)は、「必ず質問されることを前提」に、質問を想定したり、その回答を準備したりしておく。
 - ☆ 質問に答えるには、答えの作り方も大事！(内容とその内容の並べ方や順序)
- 6月・7月
- 自己分析やノートを持って相談室へ行き、面接の練習を繰り返し、本番に備えていく。
 - ※ 志望動機以外のことを含め、様々な質問への対応力を高める。
 - ☆ 質問に答えるには、答え方も大事！…笑顔・目線・簡潔な説明(使命感、堅実性、判断力)
 - 併せて模擬授業や集団活動(特支)への対応練習を行う。

(練習のポイント)

- 演習を活用し、面接/模擬授業・集団活動(特別支援)への自信を少しずつ深めていく。
- ※ 他の人の前で話せる/考えをまとめて伝えられる/臨機応変に対応できる自分をつくるためにも、積極的に演習に参加し、多くの質問や考えにふれる中で自分の「考え方の軸」をもつ。
- ☆ 自信を深めるには、経験を積むことが大事！
- 相談室を活用し、小論文(自治体による)の型を押さえ、自信を深めていく。
- ※ 様々な教育課題に向き合いインプットする…現状や背景/今の学校や先生方の取り組み/教師としての自分はどうしたいのか、どんなことに取り組みたいのか/背景にある法律。
- ※ 「調べながら」から「自力で」へ…時間を決めてチャレンジしてみる。
- ☆ 自信を深めるには、まずはたくさん書くことが大事！
- ※ 8月末以降に二次試験のある人は余裕をもって相談室を利用できます。活用してください。